

「いしかわ世界農業遺産国際貢献プログラム」

石川県は、国連食糧農業機関（FAO）、国連大学サステナビリティ高等研究所、金沢大学、石川県立大学、国際協力機構と連携し、開発途上国の持続可能な発展に資するため、①世界農業遺産の申請支援や、②地域振興を目指す国々のための能力開発研修を行う「いしかわ世界農業遺産国際貢献プログラム」を提供しています。

背景、メリット、実績

- 石川県では、2011年に、「能登の里山里海」がFAOから世界農業遺産に認定
→ これまで、約50カ国から300名以上の研修を受入
- 関係6機関が連携して、それぞれの専門性を活かした「質の高い研修」を提供
→ 研修内容は、参加者の希望に応じてカスタマイズ可能
→ 開発途上国が抱える個別課題に対して、有識者が答える「課題演習」を実施
- 石川県内の研修費用の一部を石川県が負担（要協議）



<研修コース（例）>（研修期間：4日間）

座学（1日間）

- ・世界農業遺産の意義・目的、「能登の里山里海」の取組紹介等

現地視察（2日間）

- ・世界農業遺産認定地域を訪問し「能登の里山里海」の利活用、地域振興の取組を視察

【生計の維持・生業の創出】

- ・交流人口、定住人口の増加を目指した過疎地域での農家民宿群の取組
- ・耕作放棄地や地元の農業資源を活用した特色ある地域ブランドの開発

【伝統技術の継承】

- ・伝統工芸品の新商品開発・海外への販路拡大
- ・伝統漁法「ボラ待ちやぐら」の復活、漁獲物のブランド化

【環境や景観の保全】

- ・森林管理による里山保全、生態系の維持への貢献を行う製炭の取組
- ・棚田オーナー制度による「千枚田」の耕作放棄地の解消と景観の保全

【人材育成】

- ・地域振興のリーダーとなる人材の育成の取組 など



製炭工場



輪島塗工房

課題演習（1日間）

- ・研修員が自国の世界農業遺産候補や地域振興施策をプレゼン
- ・6機関の有識者や地元自治体職員が、認定申請や地域振興策に対する具体的なアドバイスや意見を提供

帰国後のフォローアップ

- ・世界農業遺産の申請に関する新たな課題などの相談に対し、帰国後も専門的な助言を継続



千枚田